

合同企画展

是山と蘇峰

『書簡に見る二人の交流』

令和7年 令和8年
11月1日～3月31日

会場

徳富記念園

熊本市中央区大江4丁目10-33

後藤是山記念館

熊本市中央区水前寺2丁目6-10

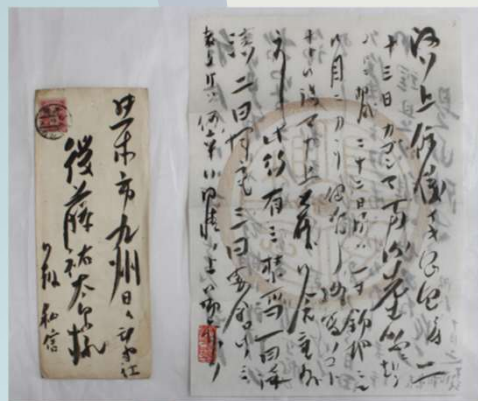
・開館日時：9:30～16:30、月曜休館（月曜祝日の場合、翌火曜日休館）
・入館料：大人200円 こども100円（市内65歳の方、市内小中学生は無料）

是山と蘇峰

「書簡に見る二人の交流」

後藤是山は、明治四十四年（1911年）に九州日日新聞社から徳富蘇峰の国民新聞社へ記者留学します。是山はこの時初めて蘇峰に出会います。蘇峰は是山の仕事ぶりを見てすぐに文芸面での才能を見抜きました。親子ほど歳の違う二人ですが、是山の記者留学をきっかけに、是山と蘇峰は生涯を通じ交流を深め、多くの書簡を残しています。

今回は二人にまつわる様々な書簡に触れながら、二人の交流の様子を後藤是山記念館と徳富記念園の合同企画展として垣間見ていただきたいと思います。



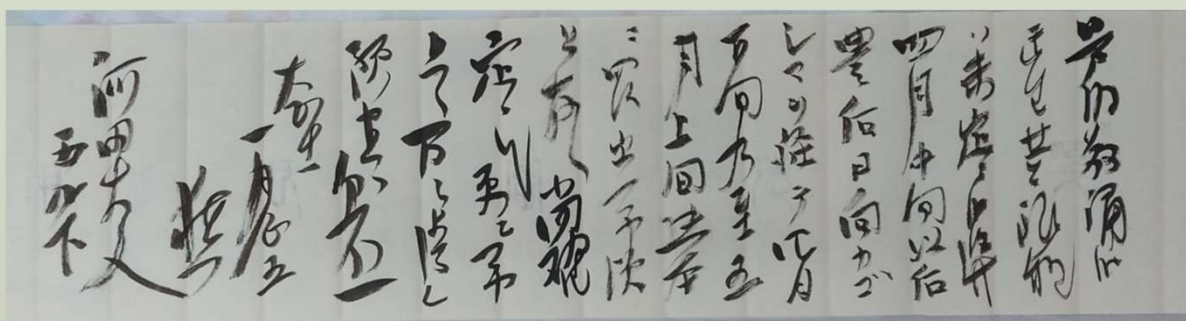
昭和2年10月2日の蘇峰の書簡

蘇峰は是山へ「鹿児島へ行くので、その時熊本により「淡成居」を訪問したい」という内容の手紙を出しています。



「淡成居」扁額(昭和2年8月)

昭和2年の夏、是山は水前寺に新築し引っ越します。その時、是山は新居に名前を付けようと蘇峰に相談しました。その時に蘇峰が贈ってきた「淡成居」と揮毫した扁額です。



大正11年1月25日の義兄・河田精一氏に宛てた蘇峰書簡

大正11年は、5月、徳富蘇峰が23年ぶりに帰熊します。この時に蘇峰は阿蘇の「遠見ヶ鼻」を「大観望」と命名しますが、この年の帰熊を蘇峰が楽しみにして、早くも1月には大江義塾跡を守る姉光子の夫・河田精一氏へ知らせた手紙です。「大観望」命名の時は是山も阿蘇に同行しました。

徳富記念園

熊本市中央区大江4丁目10-33
Tel 096-362-0919



後藤是山記念館

熊本市中央区水前寺2丁目6-10
Tel 096-382-4061

